

令和7年度 幼稚園修了式、小・中学校卒業式祝辞のテーマについて

<b>小学校 テーマ：「多様性を大切に」</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・違いを認め誰もが尊重し合うことが必要</li><li>・誰かに言われた通りに進むだけではなく、自分で考え、選び、行動する力</li><li>・自分や他者を大切にし、自分の未来を切り拓く</li></ul> → <b>中学校に向けて</b> 失敗を恐れずに挑戦して欲しい
<b>中学校 テーマ：「多様性・公平性・包摂性を大切に」</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・人の違いを否定するのではなく、違いがあることを前提に認める多様性</li><li>・全員を同じように扱うことではなく、それぞれに必要な支えや機会が行き届くように考える公平性</li><li>・誰一人取り残されることなく「ここにいていい」と感じられる社会をつくる包摂性</li></ul> → <b>社会に向けて</b> 多様性・公平性・包摂性を大切にする社会の担い手として、自分の人生を、自分の力で切り拓いて行って欲しい
<b>幼稚園</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>○ 卒園児への言葉</li><li>○ 保護者向けの挨拶</li></ul>

参考

- ・ デフリンピック競泳女子50m平泳ぎ 銀メダリスト 久保 南 氏  
(豊島区出身 テーマ：多様性)
- ・ ノーベル生理学・医学賞 大阪大学特任教授 坂口 志文 氏
- ・ ノーベル化学賞 京都大学特任教授 北川 進 氏  
(テーマ：地道な努力の積み重ね)

## 告 辞

日ごとに、温かくなり、春の訪れを感じる季節となりました。

この佳(よ)き日に、豊島区立〇〇小学校の卒業式を迎えるにあたり、卒業生の皆さんに心よりお祝い申し上げます。

先ほど、校長先生から、皆さんお一人おひとりに卒業証書が手渡されました。この卒業証書は、皆さんの六年間の小学校生活において、将来生きていくために必要な知識や技能、学習を深めるために大切な学ぶ力、そしてどんな困難にも負けない強い心を身に付け、体を鍛えてきたという証(あかし)です。このように立派に成長することができたのは、多くの方の支えがあったからです。今、皆さんの姿を見て、式場にいるすべての人がうれしく思っています。

さて、私たちは、気候変動や国際情勢など、将来の変化を予測することが難しい時代を生きています。そのような時代においては、自分と異なる背景や価値観をもつ人と出会い、互いを理解し、力を合わせて課題を解決していく力がこれまで以上に重要となっています。

そのような時代だからこそ、自分と異なる考えや背景をもつ人と出会い、互いを尊重しながらよりよい社会を築いていく力が一層求めら

れています。

豊島区は、多様な文化や言語、考え方が共存する地域であり日常生活や学校生活の中で多様な他者と協働しながら学ぶ環境が広がっています。

皆さんが豊島区における「一人一人を大切にする教育」を通し身に付けてきた、主体的に学び考える力、多様な他者と対話する力、仲間と協力する力、そして自分らしさを大切にする心は、これからの豊島区、そして未来の社会を支える大切な力となるものです。

四月から始まる中学校生活では、より広い視野をもち、自ら問いを立て、学びを深め、挑戦し仲間と協働しながら可能性をさらに広げてください。失敗を恐れず、多様な人と関わりながら学び合い、誰一人取り残さない社会の担い手として、心身ともにさらに成長していくことを心から期待しています。

ご参列の皆さま、本日は誠におめでとうございます。これまでの六年間は、子どもたち一人一人の成長に寄り添い、支え続けてこられた年月であったことと存じます。これから始まる中学校生活は、子どもたちが精神的な自立へと歩み始める大切な時期となります。今後とも、地域と学校が連携しながら、温かい愛情をもって見守っていただ

きますようお願いいたします。

結びにあたり、〇〇校長先生をはじめ教職員の皆さまには、これまでの温かいご指導に厚くお礼を申し上げます。また、本日ご臨席を賜りました皆さま方には、今日(こんにち)まで多大なご支援、ご協力をいただきましたことに深く感謝申し上げ、お祝いの言葉といたします。

令和八年三月二十五日 豊島区教育委員会

(1105 字 280 字を1分として4分半)